

タイトル名「対人援助実践をレポートするこの一冊」

第39回：第4章-その11-

NO MANGA, NO LIFE II.

著：高山かおり

企画：渡辺修宏

小幡知史

二階堂哲

はじめに

漫画をテーマとしたエッセイについて、ありがたいことに再びお声がけいただき、またペンをとらせていただくことになった。今回は、何を書こうかと非常に悩んだのだが、日常的に漫画を読む人間の一人として“何故、漫画を読むのか？”について書かせていただくと思う。

何故、漫画を読むのか？

私の思う漫画の一番の良さは“〇〇だったら良いな”という想像の世界を描いてくれていることだと考えている。

より具体的に述べるならば、漫画の世界には、ほとんどの作品において、必ず“救い”があるのだ。

良いことをしたら、いつかは報われるし、悪いことをしたら、それ相応の罰等が待っている。

たとえば、昨今流行している作品の系統の一つに、「ざまあ系」がある。不当な扱いを受けていた人物が、後に見直されて正当な扱いを受けたり、悪役キャラの罠にはめられて悪者に仕立て上げられた人物が、後に潔白が証明され、罠にはめた人物が相応の罰を受けたりする内容である。

誠実な人物が最終的には報われて、悪役キャラの「様を見ろ」な展開となるのだ。

しかし、現実世界ではどうか？

もちろん、救いがないわけではないが、残念ながら、漫画世界のような展開になることは、少ないように思う。上手く立ち回れる人は、どこまでも上手くできるだろうし、悪いイメージが一度でもついてしまったら、それを払拭することは極めて難しいと考える。

私は残念ながら、器用な方ではない。

物事が上手にいくよう努力をしても、必ずしも報われるわけではないし、「〇〇すれば良かった」と、既にもう、どうにもならないことを後悔することも多くある。

対人援助場面にあてはめても、同様である。

様々な事由から、もどかしく感じることもあるし、良い方向に進んでいると思っていたのは自分だけで、実際は異なる場合もあったりする。自分の無力さを悔しく思うこともあるし、支援者同士でも、考え方等がすれ違い、誤解がうまれてしまうこともあるだろう。

それでも、より良く生きるために、思いこむのである。

きっと、この経験は未来で役にたつに違いない。

きっと、これから良い方向に向かうに違いない。

なんの根拠もないけれど、自分の心の安定のためにも、漫画世界のような“救い”があるかのように思いこむのだ。

私にとって、漫画を読むことは、全て報われるわけではない現実世界でのモヤモヤを、漫画世界の中で昇華させているのかもしれない。

オススメ漫画紹介：『天国での暮らしはどうか』

結びに入る前に、近頃のオススメ漫画作品の一つを紹介したい。イラストレーターであり看護師でもある中山有香里先生による『天国での暮らしはどうか』である。

こちらの作品は、亡くなった人間やペットたちが、その後どのように暮らしているのか、そして生きている人たちが、どのように過ごしているのか等について描かれている。

ストーリーはもちろんのこと、先生が描かれる可愛い動物たちのほんわかとした絵柄に、ホッと癒されるのである。

なお作品で取り上げられている死後の世界については、様々な立場によって、考えが異なるかと思うのだが、正直なところ、生きている人間には未知の世界である。しかし、こんな世界だったら良いなと思えるような、思わずクスッと笑えるような、そして時々ウルウルと涙が出てきてしまうような、とても温かな作品なのである。

こちらの作品を読んでからは、死後の世界が少しだけ明るく感じられる。

たとえば、もし私が天国に行けたならば、幼い頃に仲良くしてもらっていた親戚のネコちゃん(ちなみに名前は“トマト”)が迎えに来てくれるかもしれないし、地獄に行つたと

しても、今まで逃がしてきたクモたちが、もしかしたら団結して糸を垂らしてくれるかもしれない。

まもなく人生の午後にさしかかる年齢となり、様々な心配があるものの、作品のおかげで、楽しく今後を迎えられる気がしている。

私にとっての漫画は、やはり笑顔でより良く生きるために、欠かせないものなのである。

おわりに

以前、原稿を書かせていただいた際は、私は主婦であった。しかし現在は、非常勤であるものの、療育分野の対人援助職として働かせていただいている。

自分の至らなさや、支援の難しさに毎回頭を悩ませているが、ご利用者様やご家族の役に立てたらと、自分を奮い立たせている。

私にできることは、ほんのわずかかもしれない。それでも、信じたいのである。

いつか報われる未来があることを。

そして、私は今日も、漫画を読むのである。

自分が笑顔でより良く生きるために。

オススメ漫画の書籍情報：

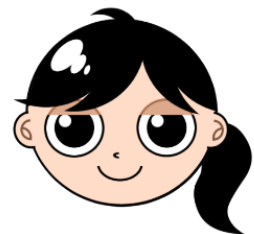
『天国での暮らしはどうですか』

著者：中山有香里 先生

出版社：KADOKAWA

※現在 2 巻まで発売中（2026 年 5 月時点）

<https://www.kadokawa.co.jp/product/322502000945/>



—つづく—